



高知から世界へ 海上クレーンメーカーSKK

海とともに歩む 株式会社SKKの歴史と誇り



高知市に本社を構える株式会社SKK(旧・四国建機)は、1956年(昭和31年)に砂利を取る作業の負担軽減を旨とし、自社で機械を開発したことから始まりました。そして、1975年にはさらに多度津工場(香川県)を設立。ここでは大型クレーンの出荷にも対応できるよう、専用の岸壁設備が整備されました。

自社製品に対するこだわりは強く、「設計・製造・検査・サービス」を一貫して社内で行っており、国産にこだわるのも品質と誇りを守るためです。このSKK

Kの製品の強みはディーゼルエンジン駆動による力強さと、頑強性、オーダーメイド設計による自由度の高さです。「形に残るものをつくっている」という強い自信をもっています。仕事の山場は、長期間かけて製作したクレーンが荷重テストに合格するかどうか。失敗すればすべてをやり直す必要があるだけに、緊張感と達成感が入り混じる重要な工程です。

現在、SKKは海上クレーンで日本国内シェア7割以上を誇り、オンリーワンの存在です。「協和・誠実・責任」を社是に掲げ、創業から70年近くにわたり「海の現場を支える技術屋」として進化を続けるSKK。その技術は世界の海に根づいていくことでしょう。



追手前高校OB 社員さんへのQ&A

Q 仕事での苦労はなんですか？

A 「決まったことばかりではなく、不慣れな作業もあることです。ただ、成し遂げたときに達成感があります。」

Q 苦労の乗り越えかたは？

A 「まず、とにかく頑張ることですね。ガッツです。それと、一歩ずつ着実に前へ進むことを大切にしています。」

Q 苦労を乗り越える上でのモチベーションは何ですか？

A 「早く仕事を終わらせて、最近生まれてきたうちの子に会うぞー！という気持ちです(笑)」



Q 最後に、若者にメッセージを！
A 「高知の企業をもっと知って欲しい。最終的には、ぜひ高知で働いて欲しいです。」



私たちの気づき

SKKの社員の皆様、会社や郷土への深い愛情と誇りを持ち、情熱を注いで仕事に取り組み姿から、ものづくりを通して社会を支え、形づくっていることを実感しました。

これまで日本の湾岸インフラを支えてきたSKK。これからも災害大国日本を支える礎として活躍を期待したいです。